

報道機関各社 殿
(各社への連絡は幹事社からお願いします。)

令和6年1月16日
午後1時00分発表
室蘭海上保安部



広 報 資 料

問い合わせ先

室蘭海上保安部
次長 大谷 良彦
(電話:0143-23-3133)

令和5年室蘭海上保安部管内海難発生状況(速報値)

- 船舶海難隻数は12隻で、昨年から3隻増加しました。
船舶海難に伴う死者・行方不明者数は0人で昨年に比べ2人減少しました。
○人身海難者数は23人で、昨年に比べ3人増加しました。
人身海難による死者・行方不明者数は14人で昨年と比べ5人増加しました。

1. 船舶海難の発生状況

船舶海難隻数：12隻 (昨年比 3隻 増加)
死者・行方不明者数は 0人 (昨年比 2人 減少)

	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
プレジャーボート	4	3	2	6	5
漁船	3	2	5	1	5
貨物船	1	2	3	2	2
遊漁船	0	0	0	0	0
その他	0	4	1	0	0
合計	8	11	11	9	12
()内は死者・行方不明者	(1)	(1)	(0)	(2)	(0)

単位：隻

【船舶海難の内訳】 ※()内は令和4年との比較

- (1) 船種別：「プレジャーボート」 5隻 (-1) 「漁船」 5隻 (+4)
「貨物船」 2隻 (±0) 「その他」 0隻 (±0)
(2) 海難種類別：「単独衝突」 3隻 (+1) 「転覆」 2隻 (±0)
「運航不能」 7隻 (+2)

※「単独衝突」：船舶が、岸壁、防波堤などに接触し、船舶又は物件に損傷が生じたもの。

※「転覆」：船舶が、外力、過載、荷崩れ、浸水、転舵等のため、ほぼ90度以上傾斜して復原しないもの。

※「浸水」：船外から海水等が浸入し、船舶の航行に支障が生じたもの。

※「運航不能」：機関故障、推進器障害、舵障害、燃料欠乏、無人漂流など。

□ 主な船舶海難

5月9日、砂原漁港沖で1名乗組みで操業中の小型漁船から、何らかの理由で海中転落し、同漁船が無人漂流となったもの。(現在まで、同乗組員の発見に至っていない。)

2. 人身海難の発生状況

人身海難者数：23人（昨年比3人増加）

死者・行方不明者数は14人（昨年比5人増加）

	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
マリンレジャー以外の 海浜事故	5 【3】	7 【5】	10 【7】	9 【7】	11 【10】
マリンレジャーに伴う 海浜事故	3 【1】	10 【6】	1 【1】	3 【0】	1 【1】
船舶海難によらない乗 船者の人身海難	8 【3】	7 【1】	8 【2】	8 【2】	11 【3】
合計	16	24	19	20	23
【】内は死者・行方不明者	【7】	【12】	【10】	【9】	【14】

単位：人

【人身海難の内訳】 ※()内は令和4年との比較

(1) マリンレジャー以外の海浜事故

発生人数：11人（+2）

種別：「自殺」7人（+4） 「岸壁等からの海中転落」4人（-2）

(2) マリンレジャーに伴う海浜事故

発生人数：1人（-2）

種別：「岸壁等からの海中転落」1人（-1）

(3) 船舶海難によらない乗船者の人身海難

発生人数：11人（+3）

種別：「負傷」6人（±0） 「海中転落」4人（+2）

「病気」1人（+1）

※**船舶海難** 海上における船舶に衝突、転覆、乗揚、浸水、爆発、火災、行方不明、機関・推進器・舵等の損傷又は故障、その他安全な運航が阻害された事態が生じた場合をいう。

※**人身海難** 船舶海難によらない乗船者の人身海難、マリンレジャーに伴う海浜事故及びマリンレジャー以外の海浜事故をいう。

※**船舶海難によらない乗船者の人身海難** 衝突、乗揚、転覆等の船舶海難以外の事由により発生した船舶の乗船者の海中転落、負傷、病気等をいう。

※**マリンレジャーに伴う海浜事故** 遊泳中や釣り中などマリンレジャー中の事故をいう。

※**マリンレジャー以外の海浜事故** 岸壁等からの海中転落や自殺等をいう。

□ 主な人身海難

- 2月28日、室蘭港岸壁上で荷役作業中に、誤って海中転落。付近作業員により岸壁に引き上げられ、病院へ搬送されるも、死亡。
- 11月12日、鹿部町本別漁港で、前日夜よりひとりで釣り中に海中転落。救急隊員により発見揚収されるも、死亡。